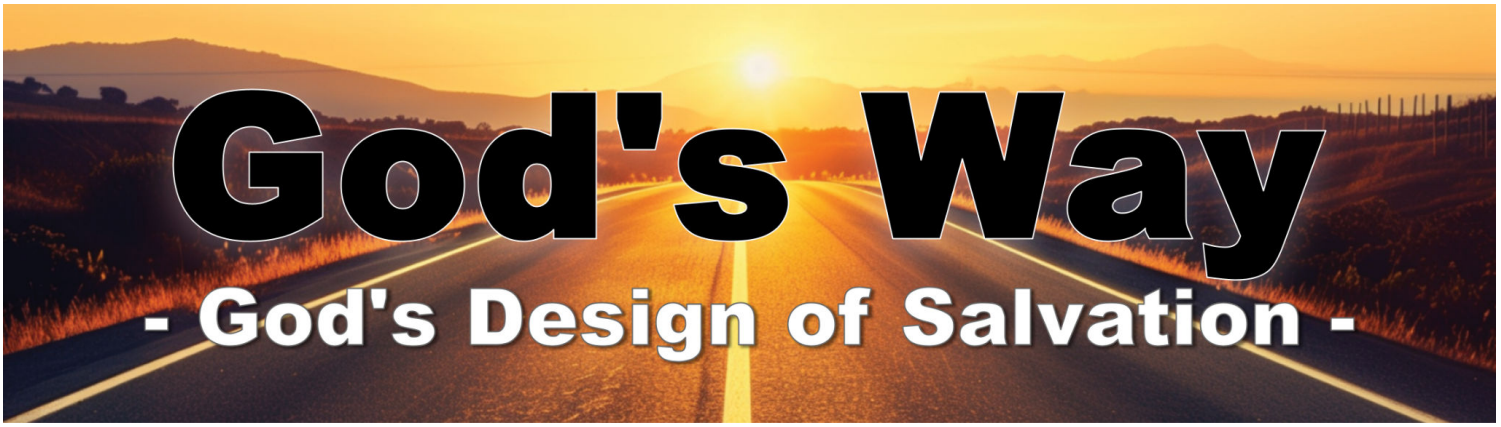


Week of May 24, 2026 - The Wrath of God | Small Group Lesson 3

知り合う

ある計画や意見、アイデアについて、「これは素晴らしい！」と確信していたのに、翌朝になってみたら、実はあまり良くないと気づいた経験について分かち合ってください。それはどのような状況でしたか？何がきっかけで考えが変わったのでしょうか？その経験を通して、私たちの方法（人間のやり方）と、主の方法（神様のやり方）の違いについて、どのようなことを学びましたか？

聖句　ローマの信徒への手紙 1:18-25（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

18 不義によって真理を妨げる人間のあらゆる不敬虔と不義に対して、神は天から怒りを現されます。 19 なぜなら、神について知りうる事柄は、彼らには明らかだからです。神がそれを示されたのです。 20 神の見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造以来、被造物を通してはっきりと認められるからです。したがって、彼らには弁解の余地がありません。 21 なぜなら、彼らは神を知りながら、神として崇めることも感謝することもせず、かえって、空しい思いにふけり、心が鈍く暗くなったからです。 22 自分では知恵ある者と称しながら愚かになり、 23 不滅の神の栄光を、滅ぶべき人間や鳥や獣や地を這うものなどに似せた像と取り替えたのです。

24 そこで神は、彼らが心の欲望によって汚れるに任せられ、こうして、彼らは互いにその体を辱めるようになりました。 25 神の真理を偽りに替え、造り主の代わりに造られた物を拝んでこれに仕えたのです。造り主こそ、永遠にほめたたえられる方です、アーメン。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 18～20節によると、神の創造物（造られたもの）を通してはっきりと認められる、神の2つの具体的な「見えない」属性（性質）とは何ですか？これらの証拠があるにもかかわらず、すべての人類にとってどのような「不幸な結果」がもたらされているのでしょうか？ なぜ彼らには弁解の余地がない（言い訳ができない）のでしょうか？

2. 21節では、人間の心の中に起きた「悲劇的な変化（シフト）」について説明されています。人々は神を知っていながらも、神に対して拒んだ「2つのこと」とは何ですか？また、その結果、彼らの心はどのような状態になってしまいましたか？

3. 22～23節で、パウロは人類の愚かさを指摘しています。人々は、朽ちることのない（不滅の）神の栄光を、代わりに「何」と引き換えてしまったのでしょうか？

4. 24～25節によると、神はこのような反逆（不信仰）に対して、どのようにご自身の怒りを現されていますか？人々が神の真理を偽りと引き換え、造られたものを崇拝するとき、彼らはどのような欲望の中に引き渡されて（委ねられて）しまうのですか？

分かち合い

話し合い　その１：

タケシ牧師は、人類に対する神の怒りを説明するために「放蕩息子」のたとえ話を用いました。神様（父親）は、息子に雷を落として罰したわけではありませんでした。ただ静かに自らの保護を外し、息子の反逆的な心が求めた通りのものを、そのまま彼に与えた（引き渡した）のです。あなた自身、神様の御心（みこころ）から外れていると知りながら、何かを頑固に追い求めてしまった経験はありますか？そして後になって、「自分が欲しかったもの」を手に入れたこと自体が、実は大きなレッスン（懲らしめ・学び）だったと気づかされたことはあるでしょうか。その経験から、どのようなことを学びましたか？

話し合い　その2：

タケシ牧師は、最後に「真理の言葉」でメッセージを締めくくりました。私たちはみな、神の真理を偽りと引き換え、神を避けて生きてきたため、神はご自身の怒り（裁き）を身代わりに受ける存在としてイエス様を送り、私たちに神の義（正しいとされること）を与えなければなりませんでした。神様の保護からついつい離れて迷い出てしまう、あなた自身の性質や傾向をじっくりと見つめ直すとき、イエス様があなたを生かすために、神様のもとへと連れ戻そうと「積極的にあなたを追い求めてくださった」という事実について、今どのように感じますか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。